

欧州都市 行政視察報告

全国市議会議長会主催の欧州都市行政調査団として、イギリス、フィンランド、ドイツの各都市を訪問した。

◆イギリス

イギリスには、成文化された憲法がなく、習慣や判例により政治が行なわれる。地方自治体の構造は、都道府県と市町村の二層制の日本に対し、一層制と二層制が混在している。中でもロンドンには、1市32区で構成されるが、GLAという広域的な総合調整などを行なう組織があり、特殊な形態となっている。440の自治体のうち11団体のみが市長公選制で、その他では、議員の中から市長が選ばれる。議員は名誉職で原則的な報酬はないが、例外として、フルタイムで従事する場合は給与が支払われている。

・ミルトンキーンズ市

(都市開発計画住宅政策等)

新都市法に基づいて33か所開発されたニュータウンの中

イギリス・フィンランド・ドイツの都市環境整備、自然環境保護、高齢者福祉などを調査研究

やました
山下 守

期間…6月30日から7月8日まで

で最も成功した市である。国が設立した開発公社（官公庁ではない）が、国から資金を借りて開発し、インフラ整備などを行なう義務をおった。開発公社は、その後解散し、この区域は、97年に県から独立して、単一自治体となった。

◆フィンランド

(自然環境教育・子育て支援)

フィンランド共和国は、大学まで授業料を無償化するなど福祉サービスが充実した福祉国家で、一見すると理想的



フィンランド ボルヴォー市役所

に見えるが、若者の失業者がかなり多いのは意外だった。

エスポー市では自然環境教育について、また、ボルヴォー市では子育て支援について、レクチャーを受けた。訪問したキツサンクルマ保育園は、年中無休で、午前5時半から10時半まで開いており、最大10時間預けられる。

◆ドイツ

(緑化政策、高齢者福祉)

ドイツ連邦共和国は、3つの都市州と13の広域州で構成され、基本的な自治権は法律で保障され、基本的な考え方は、地方でできることは地方で、できないことは州または連邦で行なうという補完性である。議員は名誉職だが、市によっては報酬を支給したり、議員を職員として任命し執行権を持たせたりする制度もあり、議会と首長の役割分担が地方自治体によって異なっていた。

カールスルーエ市を訪問



ドイツ カールスルーエ市役所

し、ビオトープなどの緑化政策、世界的に有名な都市交通システムについて、また、ハッタースハイム施設を訪問し、高齢者福祉の現状、問題点のレクチャーを受けた。

フランクフルトの日本国領事館では、欧州から見る日本について意見交換した。

最後に、欧州各都市における地方自治の実態及び行政施策、地方議会の実情を肌で感じ、日本との違いを実感する有意義な研修であった。

行政視察報告

総務委員会

●日時／7月21日～7月23日

●視察地／

日田市・福岡市・可児市

大分県日田市では、日田市民文化会館「パトリア日田」について、福岡県福岡市では、応急手当市民サポーター制度と揺れやすさマップについて、岐阜県可児市では、可児市文化創造センターについて視察を行なった。可児市では、劇団や交響楽団と地域拠点契約を締結し、ホールでの公演に加え小学校や福祉施設での草の根交流も実施していた。

文教厚生委員会

●日時／7月21日～7月23日

●視察地／

福井市・野々市町・小浜市

福井県福井市では、福井市地域交流プラザ「アオツサ」について、石川県野々市町では、野々市町教育ユニバーサルプランについて、福井県小浜市では、食育の取り組みについて視察を行なった。小浜

市では、地域振興策の資源として食に着目し、生涯教育、地域コミュニティの醸成など様々な面で成果を出している。特に就学前の子ども向けの「キッズ・キッチン」では、単なる調理実習に留まらず、食とは他の命をいただくことという、生きることとは何かを体得する場となっている。



文教厚生委員会 行政視察（小浜市）

市民経済委員会

●日時／8月10日～8月12日

●視察地／

大津市・富山市・金沢市

滋賀県大津市では、大津市地球環境保全地域行動計画（アジェンダ21おおつ）について、富山県富山市では、エ

コタウン事業について、石川県金沢市では、農業支援施策について、視察を行なった。富山市では、事業の核であるエコタウン産業団地で、団地内で廃棄物を他の分野の原料として活用し、廃棄物をゼロにする「ゼロ・エミッション化」に取り組んでいた。

建設委員会

●日時／7月21日～7月23日

●視察地／

酒田市・山形県・天童市

山形県酒田市では、浄化槽雨水貯留施設転用補助金について、山形県庁では、高速度路からの救急車退出路について、山形県天童市では、芳賀土地区画整理事業について視察を行なった。山形県の高速度路からの救急車の退出路は、年間600回以上利用され、1分1秒を争う救急患者にとっては、大変重要なものとなっている。

議会運営委員会

●日時／8月18日～8月20日

●視察地／横須賀市・栗山町

神奈川県横須賀市と北海道

栗山町で、議会運営と議会の改革及び活性化の取り組みについて視察を行なった。平成18年5月に全国で初めて「議会基本条例」を制定した栗山町では、今後、議会の役割が広範囲で、責任も重くなるという認識の下、インターネットによる議会のライブ中継や監視型議会からの脱皮を図り議員自らの力量を上げるための政務調査の導入等、様々な改革を進めていた。また、町民との意見交換のための一般会議、議会モニターを設置や、議会サポーターの導入など議会基本条例に掲げたものを着実に実践していた。



議会運営委員会 行政視察（栗山町）